

登録コード	E2014900	開講年度	2026				
授業科目	古典文学史					担当教員	西 一夫
英文授業名						副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・5時限	対象学生	2-4年
講義室	教育M301講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	中等教育における国語科の文学史的な展開を概観する資質・能力を習得することを達成目標とする。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	古典文学の作品群を中等教育において取り上げられる作品を中心に通史的に把握する。本授業では散文作品を取り上げながら、その発生・変質と特質とをあきらかにする。その上で既成の文学概念にとらわれることなく、関連する学問領域の文化的諸要素をも取り込みながら立体的な視点で文学史を理解し、授業構想に活用することができるようになる。						
(5)授業計画	担当教員が中等教育の実務経験を活かして講義します。 第1回：文学史概説1―文学史は描けているのか 第2回：文学史概説2―文学史理解のための書記言語の変遷 第3回：韻文史1―和歌表現の展開（万葉集） 第4回：韻文史2―和歌表現の展開（勅撰和歌集・古今集） 第5回：韻文史3―和歌表現の展開（勅撰和歌集・新古今集） 第6回：韻文史4―漢詩表現の展開（勅撰漢詩集から近代の文人） 第7回：韻文史5―俳諧表現の展開（連歌を含む） 第8回：散文史1―散文史概観、神話（古事記）・伝奇物語（竹取物語） 第9回：散文史2―歌物語（伊勢物語・大和物語） 第10回：散文史3―作り物語（源氏物語） 第11回：散文史4―歴史物語（大鏡・栄華物語） 第12回：散文史5―軍記物語（平家物語） 第13回：散文史6―随筆（枕草子・方丈記・徒然草） 第14回：散文史7―日記（仮名日記）・仮名草子、授業アンケートの実施 教育実習期間中における欠席分の補講については、個別に対応する。 定期試験						
(6)成績評価の方法	・DP1の達成目標の韻文に関して「通史的に把握」でき、かつ「発生・変質と特質」についての、各授業回での項目に関する理解度を測るための小テスト（35点） ・DP1の達成目標の韻文に関して各授業回での発見や気づきを具体的な作品または教材と併せて記述する振り返り（15点） ・DP1の達成目標の韻文に関して韻文作品または教材に関する中等教育に求められる文学史理解に関しての考察を行う最終レポート（50点） 。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	秀：授業内容をきわめて高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、高度な活動成果を示している。 優：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、良好な活動成果を示している。 良：授業内容のおおよそを理解し、講義内容を理解するとともに、与えられた課題演習・実技課題等に誠実に取り組み、授業ねらいで求める活動成果の三分の一程度の達成が認められる。 可：授業内容の一部を理解するとともに、与えられた課題演習・実技課題の一部は誠実に取り組み、部分的に努力の認められる活動成果を示している。 不可：授業出席以外は可とすべき内容を満たさない。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習：取り扱う領域について、使用テキスト等の当該箇所を事前に読んで内容を把握し、使用教材の内容を把握しておく。 事後学習：領域や教材の特質について、紹介した関係文献を読んで、授業において習得した内容を確認して振り返りを作成・提出する。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容である。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	※授業参加にあたって 複数回の小テストが授業の理解度を測る基礎的な内容である。最終課題レポートでは、授業の内容を振り返るのではなく、取り上げた問題や観点を、各受講生の問題意識と重ね合わせて考察することが求められる。 ※授業に関する情報はe-ALPSにも随時アップするので、参照のこと。						

(10)質問, 相談への対応及び連絡先	原則的に授業時に直接おこなうことが望ましい。個人的な相談・質問の場合はメールにて。また、オフィスアワーを利用してもよい。対応可能な場合は、その他の時間でも可。 研究室：中校舎4F 408 内線番号：4072 アドレス：nishika@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	プリント資料
【参考文献】	(主要な書籍のみ掲げる) 日本文藝史(小西甚一)講談社 日本文学史の試みー丸谷才一批評集成第一巻ー(丸谷才一)文藝春秋社 恋と女の日本文学(丸谷才一)講談社 日本文学史辞典 古典編(三谷栄一・山本健吉編)角川書店 恋の歌、恋の物語ー日本古典を読む楽しみー(林望)岩波ジュニア新書 恋する伊勢物語(俵万智)ちくま文庫 愛する源氏物語(俵万智)文春文庫 西鶴が語る江戸のラブストーリー：恋愛奇譚集(西鶴研究会)ぺりかん社 漢字は日本語である(小駒勝美)新潮新書 漢文の素養ー誰が日本文化をつくったのか？ー(加藤徹)光文社新書 漢文脈と近代日本ーもう一つのことばの世界ー(齋藤希史)NHKブックス 古文の読解(小西甚一)ちくま学芸文庫 古文研究法(小西甚一)洛陽社